

公表 事業所における自己評価総括表

○事業所名	呉本庄つくし園 保育所等訪問支援事業所		
○保護者評価実施期間	令和 6年 12月 1日	～	令和 7年 1月 15日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	10	(回答者数) 10
○従業者評価実施期間	令和 7年 1月 7日	～	令和 7年 1月 17日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	5	(回答者数) 5
○訪問先施設評価実施期間	令和 6年 12月 1日	～	令和 7年 1月 31日
○訪問先施設評価有効回答数	(対象者数)	9	(回答者数) 8
○事業者向け自己評価表作成日	令和 7年 2月 13日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※) だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	訪問先施設に対し、事業の趣旨や訪問支援の目的等について適切に説明を行い、家族、本人の情報を共有し、支援計画を作成するようにしている。	活動により本人の困り感が違うことが多いため、本人が行う活動内容が毎回違う場面になるように訪問日時を訪問先と調整している。	訪問先との日程調整や連携を今後も深めていく。
2	園内研修や外部研修への参加、外部講師等の助言や指導を受ける機会があり、個々の特性を理解するための研修の機会が多くある。	本人の困り感や特性に応じてコミック会話などを使用して、本人の気持ちや話したいことを的確に理解するように工夫している。	研修などに参加してスキルアップを図り、それぞれのこどもにあった手法を増やし、コミュニケーションを図っていく。
3	訪問した時に、利用児との信頼関係を気づいて行けるよう、本人の特性に合わせた関りや声掛けなどを行っている。	年齢の低い児童については、ルールやマナーを伝えるために訪問員が遊びに参加したり、別室でゲームを行うなどして楽しい活動の中で伝えるようにしている。	色々なゲームや遊びの情報を入手し、提案していく。

	事業所の弱み(※) だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	第三者による外部評価が未実施のため、評価結果を客観的に業務改善につなげていくことができていない。	第三者による外部評価を受けていない。	第三者による外部評価を受けることを事業所として検討していく。
2	保育所等訪問支援事業利用の家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等少ない。	講演会などは開催しているが、保育所等訪問利用の家族に対しての情報提供の機会は少なかった。	保護者の方が必要としている研修や情報を把握し、情報の提供の仕方を検討していきたいと思う。
3			

公表

## 訪問先施設からの事業所評価の集計結果

事業所名		公表日				令和 7 年 3 月 1 日	
呉本庄つくし園 保育所等訪問支援事業所		利用児童数		10人 (9施設)	回収数	8施設	
	チェック項目	はい	どちらとも いいない	いいえ	ご意見	ご意見を踏まえた対応	
1	訪問支援員からの助言や説明は、具体的でわかりやすく、取り入れやすいものですか。	8	0	0	<ul style="list-style-type: none"> <li>取り入れやすい助言やアドバイスが多く、勉強になる。</li> <li>授業の見通しの示し方などアドバイスをいただき、取り入れている。</li> <li>具体的にご助言いただいているので参考になります。</li> <li>一人一人の児童の実態に合わせて、適切な支援方法を助言、提案していただけていると思います。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>先生方と情報共有しながら、お子さんに必要な具体的な支援を一緒に考えていきたいと思えます。</li> </ul>	
2	訪問支援員の支援に対する知識・技術等に満足していますか。	8	0	0	<ul style="list-style-type: none"> <li>対象児の特性を細かく教えてくださり、本児の行動を理解しやすくなった。</li> <li>職員のことほめてくださり、モチベーションがあがっています。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>今後も、研修等に参加し、知識や技術など高めていきたいと思えます。</li> </ul>	
3	訪問支援員は質問に対して、適時・適切に回答してくれていますか。	8	0	0	<ul style="list-style-type: none"> <li>その時に悩んでいたことや、対象児に対する疑問に丁寧に答えてくださっている。</li> </ul>		
4	保育所等訪問支援を利用したことで、課題や困りごとが解消または軽減されましたか。	8	0	0	<ul style="list-style-type: none"> <li>対応方法がどうなのか、迷っていることが多いので、話す機会があり、気持ちが悪くなった。</li> <li>児童が学習に集中する時間が、少し長くなった。</li> <li>取り組んだことを次月報告でき、継続的な支援ができています。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>日々お子様と関わられている先生方の支援や取り組みに感謝しています。一緒に課題や困りごとを考えていきたいと思えます。</li> </ul>	
5	事業所からの支援に満足していますか。	8	0	0	<ul style="list-style-type: none"> <li>少しの時間で、本児の様子をしっかりと把握してくださり、相談しやすく満足している。</li> </ul>		
其他のご意見					ご意見を踏まえた対応		
<ul style="list-style-type: none"> <li>訪問支援が保護者の安心につながるよう、適切に保護者支援を進めて頂きたい。</li> <li>今年度は、5月まで児童に関わっていただきました。機会がありましたら、またよろしくお願いいたします。</li> <li>1年間お世話になりました。保育所等訪問終了で、もう訪問員さんが学校に来られないと分かった後、生徒が「〇〇さんは僕をたくさんほめてくれるから、頑張ろうかなと思うのに、もう会えないのが残念です」と言っていました。生徒だけでなく、担任の私にも寄り添って様々な助言をしてくださり、ありがとうございました。とても勉強になりました。</li> <li>年度途中より訪問件数が増えましたが、快く引き受けて下さり、ありがたく思っています。引き続き、保護者の思いや気持ちをすりあわせながらのご指導をお願いします。</li> <li>同じ方向を向いて保護者と連携を図っていただいているので、とてもありがたいです。</li> </ul>					<ul style="list-style-type: none"> <li>家族の方の安心につながるよう、訪問先の先生方と情報を共有しながら、今後も保護者の方の支援を行っていききたいと思えます。</li> </ul>		

事業所名 呉本庄つくし園 保育所等訪問支援事業所

公表日 令和 7 年 3 月 1 日

利用児童数 10家庭

回収数 10家庭

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制整備	1 訪問支援に使用する教具教材が整えられていますか。	6			4		・個々の実態に応じて、必要な教材や教具の提案をさせていただいています。
	2 プライバシーに配慮された面接室等が整えられていますか。	10					
	3 事業の目的が適切に説明されていると思いますか。	10					
	4 保育所等訪問支援の頻度や時間について、相談の上決定されていますか。	10					
適切な 支援の 提供	5 こどもの状態に応じた支援が提供できる職員（職種や人数）体制だと思いますか。	10					
	6 こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	10					
	7 こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、保育所等訪問支援計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	10					
	8 保育所等訪問支援計画（個別支援計画）には、訪問先施設や担任等の意向が盛り込まれていると思いますか。	9			1	・学校の先生方と密に連携を取っていただけてとても助かりました。 ・学校の意向はわからない。	・訪問時に、訪問先の意向等もお聞きしています。今後も、訪問先の意向等も踏まえた計画を作成していきたいと思っています。
	9 保育所等訪問支援計画には、保育所等訪問支援ガイドラインの「保育所等訪問支援の提供すべき具体的内容」も踏まえながら、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	10					
	10 保育所等訪問支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。	10					
	11 保育所等訪問支援を実施する際、訪問先施設に配慮した支援が行われていると思いますか。	10					
保護者への 説明等	12 事業所を利用する際に、運営規程、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	10					
	13 「保育所等訪問支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	10					
	14 事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行なわれていますか。	4	1		5		・保護者の方が必要としている研修や情報を把握し、情報の提供の仕方を検討していきたいと思いま
	15 必要なときにこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達状況、課題について共通理解ができていると思いますか。	10					
	16 定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	10					
	17 事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	10					
	18 こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	10					
19 こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	10						

	20	事業所は、訪問先施設からの相談等に適切に応じ、必要な助言と支援が行われていると思いますか。	9		1		・訪問先施設からの相談等には、連絡があった際には対応させていただいています。引き続き、行っていききたいと思います。
	21	保育所等訪問支援を実施した際に、訪問先施設と訪問支援の内容について話し合いが行われていると思いますか。	10				
	22	保育所等訪問支援を実施した際に、保護者に対して適切に共有がなされていると思いますか。	10				・今後も訪問後、保護者の方への連絡など行っていきます。
非常時等の対応	23	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	7	1	2		・今回の自己評価表は、ホームページにも掲載します。 ・保護者の方への連絡は、引き続き行っていきます。
	24	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	10				
	25	事業所では、緊急時の対応について訪問先施設と連携し、実践できるようにしていると思いますか。	10				・学校で問題が発生した時に、訪問時やクラスをすぐに変更していただきました。 ・今後も、訪問先の施設と連携して、お子様に必要な支援を実践できるようにしていきます。
満足度	26	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	10				
	27	子どもは訪問支援を嫌がっていませんか。	10				
	28	事業所の支援に満足していますか。	10				・1年間大変お世話になりました。おかげ様で客観的にみる視点が持てました。 ・これからも満足していただけるように支援を提供していきます。

事業所名		呉本庄つくし園 保育所等訪問支援事業所			公表日	令和 7 年 3 月 1 日
		チェック項目	はい	いいえ	工夫していると思う点・改善が必要だと	課題や改善すべき点
環境・運営	1	訪問支援に使用する場合の教具教材は適切であるか。	○		個々の実態に応じて、訪問施設先、家庭へその都度ご提案させていただいている。	
	2	利用希望者に対して、職員の配置数は適切であるか。	○			
業務改善	3	業務改善を進めるためのPDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	○		関係する職員が会議などで意見を出し合っている。	
	4	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○			
	5	従業者の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○			
	6	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		○	今年度から訪問施設先への評価依頼を行った。評価結果を業務改善に繋げるための会議を実施した。	評価結果を業務改善に繋げるようにしているが、第三者による外部評価制度は行っていないので、実施に向けて検討していく。
	7	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	○		必要な研修に積極的に参加している。	
適切な支援の提供	8	個々の子どもに対してアセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、保育所等訪問支援計画を作成しているか。	○		保護者から情報を頂いたうえで、訪問して実際の子どもの行動からアセスメントを行い、支援計画を作成している。	
	9	保育所等訪問支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、子どもの支援に関わる職員が共通理解の下で、子どもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	○		児童発達支援管理責任者と訪問員が会議を行い、その都度ニーズや目標を基に支援計画を作成している。	
	10	保育所等訪問支援計画を作成する際には、訪問先施設の担当者等と連携し、訪問先施設や担任等の意向を盛り込んでいるか。	○		訪問して、担任などの意向や訪問先での状況、要望や意向を直接聞いて支援計画に取り入れている。	
	11	保育所等訪問支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	○		関係する職員で支援計画会議を実施して、それを基に訪問、支援を行っている。	
	12	子どもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	○		行動観察からアセスメントをとっている。 関係機関との連携により検査結果の共有も必要な場合行っている。	
	13	保育所等訪問支援計画には、保育所等訪問支援ガイドラインの「保育所等訪問支援の具体的な内容」も踏まえながら、具体的な支援内容が設定されているか。	○		ガイドラインを確認し、具体的な内容になるよう支援内容を設定している。	
	14	保育所等訪問支援計画が職員間で共有され、計画に沿った支援が行われているか。	○		訪問時には計画を確認して訪問、支援を行っている。	
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	○		支援開始前に打ち合わせをし、どの場面やどういった状況化を観察するのかなどの確認をしている。	
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	○		支援終了後には、振り返りを行い、お互いに気づいたことなどの情報の共有を行っている。	

	17	保育所等訪問支援を実施する際、訪問先の理念や支援手法を尊重して支援を行っているか。	○		訪問先の意向や意見を尊重して、支援を行うようにしている。	
	18	毎回の支援に関して、記録を取ることを徹底し、支援の検証・改善に繋げているか。	○		毎回、訪問時の本人の様子、訪問先からの話、保護者の考えを記録している。	
	19	定期的に保護者や訪問先の意向の確認やモニタリングを行い、保育所等訪問支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	○		毎月の訪問時に保護者、訪問先双方から意見を聞き、必要時に支援計画を見直している。(概ね半年毎)	
関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	○		児童発達支援責任者もしくは訪問員が参加している。	
	21	地域の保健、医療(主治医や協力医療機関等)、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	○		必要に応じて、保健、医療、福祉、教育等の関係機関と連携する体制を整えている。	
	22	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	○			
	23	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等に助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。	○		質の向上のため、研修に積極的に参加したり、外部講師による研修なども開催している。	
	24	(自立支援)協議会子こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。	○		担当者が参加し、部会報告などにより情報共有をしている。	
	25	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	○		毎月の訪問時に本人の状況を毎回連絡し、情報共有をしている。	
	26	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	○		講演会などは開催しているが、保育所等訪問支援事業を利用されている方への発信はできていない。家庭で取り組める支援方法などの情報提供は行っている、	保護者の方が必要としている研修や情報を把握し、情報の提供の仕方を検討していく。
保護者等への説明等	27	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	○		契約時に必ず行っている。変更があった場合、その都度書面と共に説明している。	
	28	訪問先施設に対し、事業の趣旨や訪問支援の目的等について適切に説明を行っているか。	○		事業の趣旨や、訪問支援の目的については、保護者、訪問先の施設に、どのように支援を行うのかについて説明や確認をしている。	
	29	保育所等訪問支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けるか。	○		支援計画作成前に必ず本人、保護者に会って意向を確認している。	
	30	「保育所等訪問支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から保育所等訪問支援計画の同意を得ているか。	○		計画を作成した際には保護者と直接会い、説明を行って同意を得ている。	
	31	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか。	○		相談があれば、必要な助言や支援を行っている。	
	32	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	○		講演会などの開催は行っているが、事業を利用されている方の保護者会はないので、交流する機会を設けることはできていない。	保護者の方が必要としている研修や情報を把握し、情報の提供の仕方を検討していきたいと思う。
	33	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	○		電話や来所で相談を受ける態勢をとっている。	
	34	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	○		保育所等訪問事業の定期的な通信等の発行はしていないが、ホームページへの掲載や保育所等訪問事業の内容等は紙面を作成している。	今回の自己評価表は、ホームページにも掲載する。 保護者の方への連絡は、引き続き行い、情報を発信していく。

	35	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	○		
	36	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	○		本人にわかりやすい方法（言葉、メモ、写真など）をアセスメントを基に実際に使用してコミュニケーションをとっている。
訪問先施設への説明等	37	訪問支援に加え、訪問先からの相談等に適切に応じる体制を整え、必要な助言や支援を行っているか。	○		電話や来所で相談を受ける態勢をとっている。
	38	保育所等訪問支援の実施後に、訪問先施設とカンファレンスを行っているか。	○		毎月の訪問時に、カンファレンスの時間をとっている。
	39	保育所等訪問支援の実施後に、家族等へ適切に支援内容等の共有を行っているか。	○		訪問後に保護者に連絡をして状況を伝えている。
	40	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	○		
	41	訪問先施設からの相談に適切に応じ、信頼関係を築きながら、専門的な助言を行っているか。	○		訪問先と信頼関係を作りながら、専門的な視点（特性の理解など）から助言等を提案をしている。
非常時等の対応	42	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	○		
	43	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	○		
	44	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	○		
	45	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	○		園内で虐待防止研修を行っている。
	46	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	○		身体拘束を行うような事案はないが、必要な場合は保護者に確認し了承を得てから行う態勢は整えている。